



平成27年度「夢ふくおかネットワーク」事業

教員向けセミナーを開催しました！！

卒業生が働く姿を体験，見学することで，就労に対する意識を変え，卒業後の就労に向けた職業教育の充実を図ることを目的に，教員向けセミナーを開催しました。

今回は「夢ふくおかネットワーク」登録企業でもある株式会社障がい者つくし更生会様にご協力いただき，8月10日に職場体験，11日に職場見学をさせていただきました。その様子をご紹介します。

8/10 職場体験

今回は2名の先生に、「つくし更生会」様のお仕事を体験していただきました。スチール缶やアルミ缶の分別とビンの分別に分かれての体験でしたが，双方ともマスクやメガネ，手袋を2重に装着しての重装備。強い臭いや騒音の中，ベルトコンベアから流れてくる廃棄物を仕分けする作業は思ったよりも判断と根気のいる作業でした。そんな中，作業に慣れない先生と傍で支援をする職員との間に声のキャッチボールが飛び交う風景は印象的でした。「つくし更生会」様では，職場の仲間同士が，尋ねやすい雰囲気や信頼関係を築くため，このような声掛けを行っているとのことでした。

「つくし更生会」で職場体験を行った特別支援学校に勤務する2名の先生

東福岡特別支援学校 寺田 充希 先生
福岡中央特別支援学校 坂口 明正 先生



▲職場体験終了後，「つくし更生会」専務取締役那波氏に積極的に質問をする先生たち



▲仕分け作業は重装備



▲坂口先生が「緑！」と声を出すと「はい，OK！」と職員の方が返事をしてくれます



▲アルミとスチールを瞬時に判断。ずっと立ち作業です。

体験者の感想

◆今回の仕事を通して，声を出して確認し合うことが，仕事や活動に対する自信やよりよい人間関係の構築につながると感じました。学校の中でも，声を出して確認し合う機会を増やし，生徒を肯定的に認める場面を増やしていきたいです。

「この先生になら，困ったときに尋ねられる」と思われるよう生徒との人間関係を築き，生徒たちに援助要請をする体験を様々な場面で多く与えられたらと思いました。（坂口）

◆専務さんのお話の中で「就労に必要な力は，挨拶，掃除，コミュニケーション力，主体的に動ける力などたくさんあり，これらのスキルを高等部3年間だけで身につけるのはとても難しく，高等部から意識しても遅い」という厳しいお言葉を聞いて，中学部の担任をしている身としてとても危機感を感じました。中学部だからまだいいという考えではなくて，生徒の卒後の姿を見据えながら，小中高で連携して指導を行うことの重要性を改めて感じました。（寺田）

8/11 職場見学

前日の職場体験に続き、翌日は「つくし更生会」様の職場見学。参加者は福岡市の教員 20 名で、専務取締役的那波氏が工場内のほぼ全域にわたって案内していただきました。工場内がとても分かりやすく整理整頓され、一般廃棄物を扱っているにもかかわらず工場内の清掃が行き届いていることに一同感嘆しました。

また、セクションごとの説明は障がいがある社員が担当され、丁寧に詳しく説明してくれました。その方々の姿から、仕事に対する信念と誇りを感じました。

「つくし更生会」様では、セクションをうまく機能させるため、障がいの種類によって仕事を分担するのではなく、社員自身の特徴に合わせて、職場配置を心掛けているとのこと。「障がいがある社員が能力を発揮するためには、会社がどれだけの準備と環境を整えることができるかが鍵である」と話す那波氏。学校の現場でも当てはまると一同しきりにうなずいていました。

→見学の後、質疑応答。予定時間を過ぎても質問が尽きず、参加した教員の皆さんの関心の高さがうかがえます



【写真上】ペットボトルの処理についてレクチャー
【写真下】缶・ビンの仕分けについて図で解説

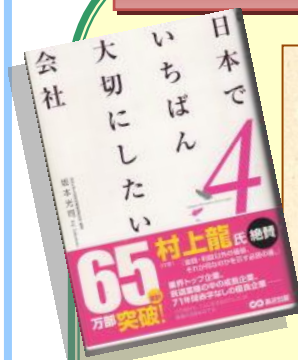


←専務取締役那波和夫氏。「人（障がい者）が育つ会社は成長する」と話す

参加した先生たちの感想を一部紹介します

- ◆卒業した子どもたちの進路について不安があり、見学を通して少しでも理解したいと思い参加しましたが、働いている方々が仕事に誇りを持ち、生き生きと働いている姿に驚きました。自分の地域にこんな素晴らしい企業があることをもっとたくさんの方に知ってほしいと思いました。
- ◆障がいも含め、自分のことを理解し、それを周囲の人たちに伝えることの大切さ、そして本人のちよっとの背伸びの後押しを周囲がすることで成長するということが今回の見学で教わりました。
- ◆那波さんの話を聞いて、改めて「障がい」は周りの者が作っているんだなと感じました。そのことを学校の現場でも伝えたいです。
- ◆「できる」をコツコツ伸ばして行くことが成長につながるという言葉が耳に残りました。つい先の事に捉われ、「なぜ？どうして？」と悩む日々でしたが、自分を見つめ直す必要がありますね。教育者として子どもの「できる」を伸ばし、たくさんの方の達成感を与えていこうと思いました。

企業紹介 株式会社障がい者つくし更生会 様



←会社に掲げられた看板
・職員の元気の源

昭和 59 年に設立、春日大野城衛生施設組合の委託を受け、春日市と大野城市の不燃性一般廃棄物処理施設の運転管理を行っている。「障がい者が自ら雇用の場を創造・開拓し、以って障がい者の自立更生を図る」をモットーに社員 40 名中 33 名が障がい者という驚異の障がい者雇用率 82.5%を叩きだし、その取り組みはメディアや書籍等でも紹介。特に「日本で一番大切にしたい会社 4」や「幸せな職場のつくり方障がい者雇用で輝く 52 の物語」などの書籍は評判である。

平成 27 年度の障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰を受ける。

庁内インターンシップ事業がスタートしました！！

2学期がスタートし、各特別支援学校の就労を目指す生徒たちが、随時、庁内に職場実習に入ります。庁内とは福岡市各局・区・室及び外郭団体のことで、福岡市保健福祉局と福岡市教育委員会が、福岡市職員の障がい者雇用への理解を深め、また生徒たちのキャリア教育と実習先の拡大を目的として毎年進めております。

受け入れ先の部署と支援学校の進路支援担当の先生たちとの綿密な打ち合わせを踏まえたうえで、各生徒たちがそれぞれの部署に実習に入ります。校外実習は初めてという生徒もおりますが、この経験を就労に向けての成長の場としていきますので、なにとぞご理解ご支援よろしくお願いいたします。



チャレキッズ

～障がいのある子どもたちの夢を叶えるプロジェクト～ お仕事体験プログラム 順調に進行中！！

子どもたちが夢に向かって成長する一助になればと、スタートしたお仕事体験プロジェクト。前回の「障がいのある人との働き方を考えるセミナー」において、チャレキッズの趣旨に賛同してくださった企業さんと、市内の特別支援学校、特別支援学級に通う小学生の子どもたちと2回にわたるワークショップを経てそれぞれ希望する職場での体験を実行中です。その様子をご紹介します。



子どもたちと企業の皆さんでゲームをしたよ←



① 【ワークショップ】

7つの企業様が参加して、子どもたちとゲームなどで交流を図りながら、お仕事を紹介。2回目は各企業様でブースを設け、簡単なプレ体験を行いました。



② 【職場体験】

餃子の黒兵衛 様

チャレキッズ2人が餃子の黒兵衛様で本格的な餃子づくりにチャレンジ。にんにくのみじん切りは初め悪戦苦闘でしたが、包丁の使い方や効率的な切り方を伝授してもらい、とっても細かいみじん切りの完成。餃子の皮の型抜きも楽しんで出来ました。

出来上がった餃子をお母さんやお父さんに振る舞って、後片付けまで気を抜かず頑張りました。しっかりおもてなしできたかな。餃子の黒兵衛様、貴重な体験を有難うございました。



九州ウォール建材(株) 様

店舗から住宅まで、内装、外装、リフォームを手掛ける九州ウォール(株)様には6年生のチャレキッズが挑戦。白い図面で自分の理想のお部屋の見取り図を作り、壁紙や床などの模様や素材を選んでコーディネートし、プレゼン資料を作りました。

続いて箆子を使ってラック作り。ドリルやドライバーを駆使しながら完成させたラックに大満足のチャレキッズでした。代表取締役の武井様、丁寧な手ほどきに心から感謝いたします。

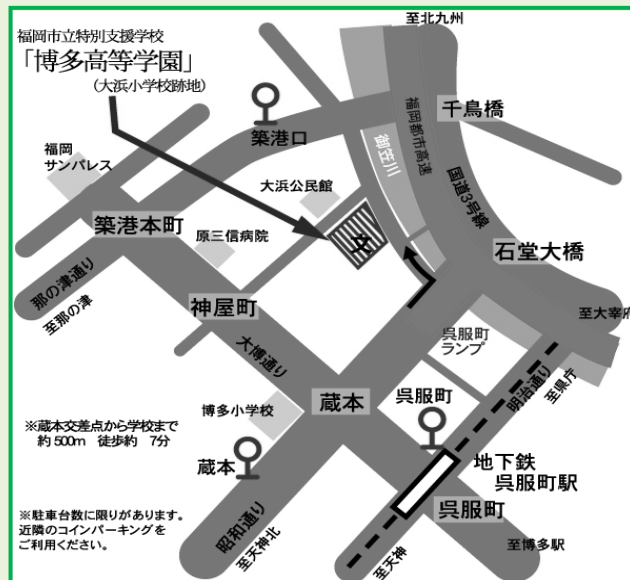


「夢ふくおか
ネットワーク」
から
企業の皆様
へお知らせ

特別支援学校生徒による合同技能発表会 及び企業と教職員との交流会のご案内

福岡県（市）では、特別支援学校高等部の生徒たちが、日頃学習し、習得した職業技能を企業の皆様の前で発表する「合同技能発表会」を開催します。発表終了後には意見や情報交換のために、教職員と企業様との交流会も開催されます。障がい者雇用の理解促進と人材確保のネットワークづくりのチャンスです。皆様のご参加お待ちしております。

- 日 時 平成27年11月11日（水）
- 場 所 福岡市立「博多高等学園」
- プログラム 合同技能発表会 10:15～
交流会 11:30～
- 発表内容
 実演 パソコン操作 清掃 ベッドメイキング
 さをり織り 喫茶サービス 木材加工
 窯業絵付けなど
 展示 木工 紙工 陶芸 縫製 織物など
- 参加校 県立特別支援学校「福岡高等学園」
 県立古賀特別支援学校、県立太宰府特別支援学校
 県立小郡特別支援学校、県立筑後特別支援学校
 福岡市立特別支援学校「博多高等学園」
 福岡市立福岡中央特別支援学校
 福岡市立屋形原特別支援学校
 福岡市立生の松原特別支援学校
 福岡市立東福岡特別支援学校
 久留米市立久留米特別支援学校



福岡市営地下鉄 呉服町駅徒歩8分
西鉄バス 築港口、紙屋町、呉服町 蔵本 各バス停より徒歩数分



参加お申込み・問い合わせ先 福岡県新雇用開発課障害者雇用係
技能発表会・交流会担当
TEL092-643-3594 Mail: shouko@pref.fukuoka.lg.jp

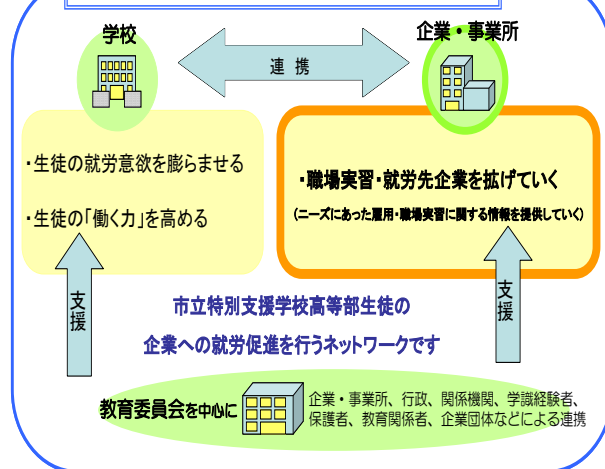
「夢ふくおかネットワーク」 へのご登録 ありがとうございます

平成27年8月1日～9月30日までに新規でご登録いただいた企業様

株式会社ダイワス	株式会社セイビ九州
ATUホールディングス株式会社	特別養護老人ホーム洗寿園
現在の登録企業数 112	公表許可をいただいた分を掲載しております

*「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は
発達教育センター就職指導員（赤松）まで

「夢ふくおかネットワーク」とは？



福岡市教育委員会 発達教育センター

〒810-0065 福岡市中央区地行浜2丁目1-6
 TEL 092-845-0015 FAX 092-845-0025
 E-mail yume_network@city.fukuoka.lg.jp
 H P http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。



※左記参照